



大山たか子通信

高ちゃんつうしん

* 2024. 12 No.58 *

市議会:087(839)2831

自宅:087(888)3272

eメール:takachan.takamatsu@gmail.com

HP:https://www.t-ooyama.jp/



公明党は今年11月17日で結党60周年を迎えました。

60年は人間で言えば還暦にあたり、還暦には新しく出発するという意味があるそうです。

議員として原点に立ち返り、もう一度「大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中で死んでいく」との立党精神を胸に刻みつけます。そして公明党の「小さな声を聴く力」と「国と地方のネットワークによる政策実現力」を大いに発揮し、皆様の声、願いをカタチとして実現できるように頑張っ



9月2日、山本博司参議院議員と一緒に『働く人の「こころ」と「からだ」の健康を、無料でサポート！』香川県産業保健総合支援センター(さんぽセンター)を視察



香川県さんぽセンターは、ワンストップサービスによる産業保健スタッフの活動へのサポートや小規模事業場(労働者数50人未満の産業医の選任義務がない)の事業主やそこで働く人への産業保健サービスを通じて、すべての人が健康で元気に働けることを目指しています。とても大事な役割を担っていますが、まだまだ事業者への理解が進んでいません。今後は更なる周知啓発が必要です。是非この事業を多くの方々に知って頂きたいですね。

「病気になっても働き続けたい!」
パンフレットの表紙です。参考にして下さい。



● 9月議会報告(一般質問) ●

質問

- ①ユマニチュードの技法を周知し、介護者や市民全体で支えあう地域づくりを目指す考えは？
- ②認知症の方々の行方不明対策の強化として、行方不明高齢者の命を守る取り組みを見直す考えは？



答弁

認知症になっても安心して暮らせる地域づくりについて



- ①ユマニチュードを広く市民に周知し、認知症本人を尊重する考え方や、対応方法の普及に努め、認知症の人や家族が安心して暮らせる地域づくりを目指していきたい。
- ②既存事業の周知に取り組み、新たな利用者等の増加を目指すとともに、警察や事業者等とも協議を重ね、より効果的な事業を検討するなど、行方不明高齢者の命を守る支援事業の見直しに向けて取り組んでいく。

質問

- ①市民への一般向け救急電話相談「#7119」の普及啓発については？
- ②連続する救急出動に備えて、救急隊員がコンビニを利用できるようにする考えは？

答弁

救急隊員の支援について

- ①今後も、LINEやX等本市公式SNSやデジタルサイネージを積極的に活用し、一層の普及啓発をする。
- ②現時点では、救急隊がコンビニエンスストアを利用できるように取り組む考えはないが、今後救急隊需要の動向や、救急車の稼働状況を見極める中で、適切に対応する。



質問

- ①熱中症について理解を深める教育を行い、その上で、日傘登下校を積極的に行う考えは？
- ②学校に給水機を設置し、子どもたちの健康と環境保護の両面で効果を発揮する取組の考えは？



答弁

子どもの暑さ対策について

- ①年々厳しさが増す夏の暑さの現状を踏まえ、児童生徒が安全に配慮した行動が取れるよう、「熱中症対策ガイドライン」を今年度中に作成し、熱中症予防の周知・啓発に努めていく。
- ②児童生徒が、随時、水分を補給でき、環境意識の向上の上においても有効な、給水機の設置について検討を進める。

質問

- ①投票支援カードやコミュニケーションボードの導入の考えと代理投票制度や投票支援に関する積極的な周知の考えは？
- ②投票管理者や投票事務従事者に対し、更なる研修を行う考えは？
- ③マイナンバーカードを活用した不在者投票用紙の請求について、分かりやすく周知・啓発を行う考えは？

答弁

障がい者など支援が必要な方々への投票環境の整備について

- ①障がいのある方が、より円滑に投票できるように、投票所でのよくある問い合わせ等をイラストや文字で記載した「コミュニケーションボード」や「投票支援カード」の導入について、他都市の事例等を参考に検討する。また、周知方法として、ホームページの記載内容の充実や「選挙のたより」にホームページと連動したQRコードを記載するほか、SNS等の活用、さらに福祉部門とも連携を図り、より積極的に努める。
- ②障害のある方が、安心して投票していただくために、個々の障がいの特性に応じた対応方法について、細やかな研修が必要なので、投票管理者や投票事務従事者が適切に支援できるよう、総務省作成の資料等を活用し、効果的な研修手法を検討していく。
- ③今後は「選挙のたより」の記載内容を工夫し、より分かりやすいものとし、ホームページには、申請手続き等を図示するなど、オンライン申請による不在者投票用紙等の請求を利用して頂けるよう、効果的な周知・啓発をする。



「ユマニチュード」とは、何でしょうか？

認知症の人やその家族等にとって、どのように接し対応することが良いのか悩むことが多いです。適切な接し方を身に付け、行動・心理症状（BPSD）の軽減や緩和をすることができる効果的な技法が「ユマニチュード」です。

この技法は、「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つの柱を通じて、「あなたを大事に思っている」メッセージを相手に届けることを目的としています。介護の現場でも、ユマニチュードを実践することで、口腔ケアを嫌がり、声を荒げていた高齢者の男性が、抵抗せずに受け入れるようになるなど、行動・心理症状（BPSD）が改善された事例もあります。



「投票お手伝いカード」が今回の衆議院選挙で利用できるようになりました。

これは投票の際に支援が必要な方に対して、補助カードの簡易版として、お手伝いカードが利用できるようになりました。9月議会で提案し実現しました。必要な方は、投票所にも置いてありますが、事前にホームページからダウンロードして記入し、投票所の係員にお渡し下さい。選挙権は全ての有権者に与えられた権利です。投票環境の整備を今後もしっかり進めて参ります。



あっちこっち高ちゃん

8月2日 公明党四国夏季議員研修会に参加

山口前代表が参加されての研修会で、政策の研鑽や活動報告などを行い、議員力を更に磨いてくことを誓いました。



9月23日 公明党女性局で防災関連街頭を実施

8月30日～9月5日までの防災週間の意義を込めて、備蓄の必要性などお話をさせて頂きました。



10月13日 日本在宅医療連合学会第6回地域フォーラムに参加

日本ユマニチュード学会の本田美和子代表理事の講演を伺い、改めて本市での必要性を感じました。フォーラム終了後、「訪問診療と終活の必要性」について講演をされた方とパチリ。



ひよこグループが昼前にお話の会を担当しましたが、日ごろの成果が出た素晴らしい語りでした。終了後にみんなでパチリ。お疲れ様でした。

8月14日 高松総踊りに4年ぶり市議連で参加

今年は、これまで着ていた浴衣から法被となり、勇壮な感じ？いかがでしょうか？姉妹城都市の彦根市議会議長と一緒にパチリ。



10月2日 ピンクリボントークイベントに参加

10月ピンクリボン月間を受けて、女子高校生と女医先生とのトークや歌があり、とても楽しいひと時でした。終了後にトーク担当の女子高校生と一緒にパチリ。



11月3日 高松市子ども読書まつりに行ってきました。



編集後記



昨年暮れより、上京していた長男が帰省し、一緒に暮らしています。月曜日は長男、水曜日は夫、そしてそれ以外は私が夕食当番です。いろいろな心配事もありますが、ほっとできる家庭でありたいと思っています。